

群馬大学はこれまで、群馬県と連携して多文化共生社会を構築する人材を養成し、地域活動を展開してきました。平成28年度からは、その実績を拡充させ、群馬県内の産学官民金の関係機関と連携して、活動内容に応じたコンソーシアムや実行委員会等を柔軟に立ち上げ、地域における外国人材の活用を推進しています。テーマは、「ハタラクラスぐんま」。外国につながりを持つ人たちとともに地域住民は、自分らしく・安全安心に・生き甲斐をもって生活し、地域の持続可能性を高める総合的なプロジェクトとして、その内容の充実を図っています。

その取組の実績は、日本経済新聞社・日経グローバル誌「大学の地域貢献ランキング」の「グローバル部門」で2014年に引き続き2015年も全国第1位にランキングされました。以下では、本学の取組テーマの例を紹介いたします。

1 「ハタラクラスぐんま」推進地域人財育成プロジェクト

【学部教育】教育・医療保健・行政・安全安心のまちづくり・経営等多様な分野で、人的多様性に配慮し、その特性を活かせる専門的職業人を教養教育から専門教育まで一貫したカリキュラムで養成しています。

【社会人教育】3年間の地域往還型カリキュラムを構築し、群馬県と連携し「多文化共生推進士」を養成しました。養成された19名を群馬大学と群馬県が連携して地域実践に活用する取組を進めています。また、下記2の地域日本語教室の指導者の養成にも取り組んでいます。

2 「ハタラクラスぐんま」定住者支援プロジェクト(文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業選定事業)

平成2年の入管法の改正の施行以降に急増した定住外国人のうち、日本での定住を選択した人々の高齢化が進み始めている現状に対応し、必要な知識・技能、日本人住民や関係機関との交流を、日本語を学びながら進める「地域日本語教室」の実践に取り組んでいます。【写真1】

3 「ハタラクラスぐんま」未来担い手プロジェクト(国立赤城青少年交流の家との共催事業)

外国につながりを持つ子どもたちが保護者・教員とともに宿泊合宿を体験し、さまざまな活動や関わりの中から自分らしさを見つけ出し、自尊心を取り戻す場を提供します。【写真2】

4 「ハタラクラスぐんま」留学生支援プロジェクト(H25-27年度 文部科学省「留学生交流拠点整備事業選定事業」)

群馬県で学ぶ留学生が卒業後も群馬で働き・暮らす環境を整備するため、県内の5つの大学と市町村・国際交流協会等関係機関が連携し、取組を進めました。【写真3】



【写真1】地域日本語教室 【写真2】あかぎ多文化交流キャンプ 【写真3】留学生就活セミナー

事業実施概要

事業名称	日本に定住を希望する外国人住民が「高齢期」に向けて備えるための日本語教育支援事業			
地域の課題	外国人住民の視点からは、①在住地域の日本語教室の存在の有無がわからない、②「あいうえお」や文法の学習ばかりで継続の意欲がもてない等の実態がある。			
事業の目的	「地域」と「学習者」の文化的・社会的多様性に配慮した「生活者としての外国人」が日本に定住し「高齢期」に備えるための地域日本語教育プログラムを、異なる地域が日本語教室の企画・運営面で連携して実践・構築する。			
事業内容	取組1		取組2	
	名称	カリキュラム開発	名称	教室指導者の養成
	目的	地域と学習者の文化的・社会的多様性に配慮するカリキュラムの開発	目的	地域と学習者の文化的・社会的多様性に配慮する指導者を養成する
	内容	平成26年度本事業の課題をふまえた地域と学習者の多様性に対応する	内容	学習者の理解・教材研究・単元毎の学習教材作成・単元毎の教案の作成等
	対象	地域日本語指導者とコーディネーター	対象	地域日本語指導者志望者とコーディネーター
	時間	1回 2時間×11(全22回)	時間	1回 ※ 時間×13回(全40時間)
	人数	14人	人数	26人
	取組3		取組4	
	名称	地域日本語教室の開催	名称	実態調査と協議会の開催
	目的	地域と学習者の文化的・社会的多様性に配慮する地域日本語教室の開催	目的	空白の地域と実施地域を結び、連携しながら事業が展開できる方策を探る
	内容	「冠婚葬祭」「防犯」「体と心のメンテナンス」「ぐんま探訪」の4つのテーマを整理・統合したカリキュラムを提供	内容	日本語教室を企画・運営面する上で、留意すべき実情の把握と方策の検討
	対象	外国につながる地域住民	対象	地域日本語指導者・地域関係者
	時間	60時間	時間	56.5時間
	人数	77人	人数	6人
	取組5			
	名称	シンポジウムの開催		
目的	プログラム充実のための方策の抽出			
内容	取組1～3の実地結果を報告し、成果と課題を地域関係者と友に協議			
対象	専門職・地域一般			
時間	4.5時間			
人数	60人			
連携体制	群馬県・群馬県認定「多文化共生推進士」・吾妻行政県税事務所・太田市・中之条町・群馬青年司法書士会等			
成果と課題	【成果】学習者の継続参加と日本語能力の向上【課題】空白の地域での事業充実			
参加者の皆様へ一言	発表は「取組3地域日本と教室の開催」を中心に発表します。より効果的な教室運営と始動に向けて、みなさまのご経験をもとにしたご指導やアドバイスをお願いします。			

※回によって開催時間は異なる